



澄懷觀道

“澄懷觀道”～中国国画特別展

中国文化観光 ウィーク第3弾

9月30日～10月4日(午前10時30分～午後5時30分)

開幕式・9月30日午後3時から 場所・東京中国文化センター



劉奇偉

1967年生まれ。教授、国家一級美術師、中国美術家協会会員、中国博物館学会理事。陝西省美術博物館館長、陝西省美術家協会副会長、陝西省書画芸術研究院名誉院長、陝西長安画派研究院副院長、陝西美術協芸術委員会副会長、陝西省非物質文化遺産研究会副理事長。

徐歩

1961年江西生まれ。陝西師範大学美術学院教授、西安美术学院山水画教授、修士指導教官、陝西省国画院画家。出版に「徐歩画集」、「二十世紀中国現象研究」、「趙望雲筆墨形式美初探」等の専門書がある。



張岩

1965年生まれ。中国書画協会会員、中国美術家協会会員、陝西師範大学美術学院教授、中国芸術研究院画家。出版に「張岩花鳥画集」、「張岩書画作品集」、「張岩画集」等。主編に「中国名書画選」、「明清名人中国画題跋」及び「絵事鑑余—中国伝統書画理論研究」等がある。

田心福

1945年貴州遵義生まれ。教授。中国美術家協会会員、貴州省国画院画家、遵義画院院長。



丁素攻

1966年陝西西安生まれ。陝西省中国画研究院副院長、西安文理学院副教授、中国美術家協会会員。作品「紅土地」が第八回全国美術展に入選、「同じ世界、同じ夢」が第七回全国工筆展に入選。



シルクロードのオアシスとも称されている新疆の魅力とその現状を紹介し、同時に中国の芸術文化を通じて相互理解を深めることを目的としたイベント、中国文化観光ウィーク第3弾「シルクロード講演及び「澄懷觀道」(中国国画特別展)」が9月30日から東京中国文化センターで開催される。中国観光局中日代表処、東京中国文化センター、新華社日本総局が共同主催する。これまでシルクロードを何度も訪れ、現地の事情に精通している講師2人による無料講演会を実施。また国家一級美術師の劉奇偉教授ら10人の教授画家が来日。中国国画の優秀作品を展示する無料特別展も行う。

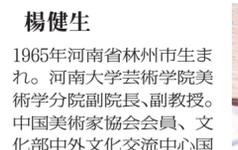
中国文化観光ウィーク第3弾 シルクロード講演

10月1日(火) 講演 午後4時～5時
「中国・新疆ウイグル自治区の魅力」
新疆ウイグル自治区は日本を遙か離れた中国再南部に位置する。シルクロードの中心地帯と言った方が分かりやすいかもしれない。多くの民族が暮らし、多くの文化遺産が残存している。この30余年の改革開放政策で、一大展を遂げた。中国の西の窓口としての重要性も増している。
新疆を140回以上訪れた体験を交えながら、その魅力を映像で分かりやすく紹介する。
小島 康善(こじま・やすたか)
佛教大学二ヶ道跡学術研究機構代表、中国新疆ウイグル自治区政府顧問、新疆大学名誉教授

10月4日(金) 講演 午後4時～5時
「中国・シルクロード自転車紀行 笑顔と歴史との出会い」
「ツール・ド・シルクロード20年計画」と称して、1993年から2012年に西安からイタリアのローマまで自転車で旅した経験を元に、中国で出会った「加油！」と声援を送ってくれた人々の様子、玄奘三蔵を中心とした歴史の舞台との出会いなど、時速約20キロメートルで旅して感じた中国の魅力を伝える。
長澤 法隆(ながさわ・ほうりゅう)
シルクロード雑学大学代表

中国文化観光ウィーク第3弾 澄懷觀道～中国国画特別展

9月30日(月)～10月4日(金)
午前10時30分～午後5時30分
(初日は午後3時から、最終日は午後5時まで)
国会一級美術師、中国美術家協会会員である劉奇偉教授をはじめとする中国八つの大学から10人の教授が来日、優秀作品の展示を行う。
【訪日画家所属】
陝西省書画芸術研究院、中国陝西師範大学、河南大学、西安美术学院、咸陽師範大学、西北工業大学、西安文理学院、西安工業大学美术学院、
【場所】
東京中国文化センター 1F展示ホール
(東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル)
【開幕式】
9月30日(月)午後3時～。絵画実演披露あり。
【講演会・開幕式申し込み】
中国国家観光局宛(参加無料)
FAX: 03-3591-6886
E-mail: cnta.tokyo@gmail.comまで



1965年河南省林州市生まれ。河南大学芸術学院美術学分院副院長、副教授。中国美術家協会会員、文化部中外文化交流中心国韻文華書画院芸術委員会秘書長、河南省美術家協会理事、河南省美術家協会工筆画芸術委員会会長兼秘書長。作品「塙上雪」、「閨秋」、「霜葉紅于二月花」が第八、第九、第十回全国美術展に入選。



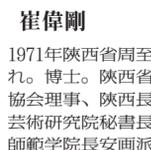
李長民

1960年陝西周至県生まれ。咸陽師範大学美术学院教授、陝西美術家協会会員、陝西省山水画研究会常務理事。出版に「李長民速写」、「新長安画譜総合巻李長民」、「立体構成」等がある。



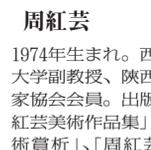
劉天琪

1972年黄龍府生まれ。西安工業大学芸術と媒体学院副教授、博士。中国書道協会会員、陝西省美術家協会会員、海南出版社社長。著作に「隋唐墓志蓋銘銘法研究」、「碑帖学導論」等がある。



崔偉剛

1971年陝西省周至県生まれ。博士。陝西省美術家協会理事、陝西長安画派芸術研究院秘書長、咸陽師範学院長安画派芸術研究所所長、副教授。



周紅芸

1974年生まれ。西北工業大学副教授、陝西省美術家協会会員。出版に「周紅芸美術作品集」、「芸術賞析」、「周紅芸画集」等がある。



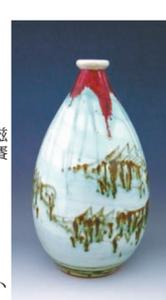
8名門大学の教授画家

中国文化観光ウィーク第4弾 中国・新観光関連法規講演及び青島世界園芸博覧会

2013年10月1日から、中国初の「観光法」が施行され、増大する旅行者の権利保護や、観光業務の公平な競争についての規定が明確にされた。これにより、今後の観光市場の安定とさらなる発展、中国と世界の観光交流の円滑化が期待されている。また、7月に新たに開始された「中華人民共和国出境入境管理法」の施行など、中国観光業界にとって13年は大きな変換期を迎える年となる。
新観光関連法規の概要に加え、14年4月から青島市で開催される「世界園芸博覧会」の内容や最新受け入れ態勢状況なども紹介する。
中国・新観光関連法規講演
10月8日(火)
テーマ=「中国・新観光関連法規について」
講演者=中国大使館領事部(予定)・中国国家観光局
時間=午後4～5時/交流会午後5～6時
10月11日(金)
テーマ=「青島世界園芸博覧会の概要と紹介」
講演者=青島市駐日本事務所より
時間=午後4～5時 / 交流会 午後5～6時

中国文化観光ウィーク第4弾 “薪火伝承”～国画陶器特別展

中国国家観光局駐日代表処、東京中国文化センター、新華社日本総局は中国文化観光ウィーク第4弾として「薪火伝承」～国画陶器特別展を共同主催する。
魯迅美术学院教授で中国陶磁器芸術大師でもある、芸術家・関宝琮氏をはじめとする中国芸術家・画家3名による、「国画陶器特別展」を開催する。
薪火伝承～国画陶器特別展
【展示期間】10月7日(月)～11日(金) 午前10時30分～午後5時30分
初日午後3時から、最終日午後5時まで
【開幕式】9月30日(月)午後3時～、絵画実演披露あり
【場所】東京中国文化センター 1F展示ホール
(東京都港区虎ノ門3-5-1 37森ビル)
【申し込み】中国国家観光局宛(参加無料)
FAX: 03-3591-6886 / E-mail: cnta.tokyo@gmail.comまで
関宝琮
魯迅美术学院教授、中国工芸美術大師、中国陶磁器芸術大師、中国美術家協会陶磁器芸術専門委員会委員、中国古陶磁器研究委員会、遼寧省博物館顧問、北京大学賽克勒(Sackler)芸術博物館顧問、遼寧省工芸美術協会副会長。
路桂筠
1940年生まれ。遼寧省美術家協会会員、工筆画家。
関涛
1968年生まれ。瀋陽理工大学芸術設計学院副院長、教授、中国陶磁器設定芸術大師、遼寧省工芸美術工業協会理事、遼寧省美術家協会会員。



関宝琮教授の作品

画境文心—屈健・梅青の中国花鳥山水画展

名門国立美术学院で中国画を学んだ後、文学博士として芸術史と芸術理論の研究を続ける屈健氏。「学者型の画家」と称される屈健氏の数多くの作品には、他の画家にはない高い「芸術修養性」がふたつき、高い評価を得ている。一方、妻の梅青氏は繊細かつ巧みな陰影を用いた山水画家として定評がある。2人の作品を通じ、中国山水画の魅力に迫る。
日 時: 10月17日(木)～23日(水) 午前10時30分～午後6時30分
場 所: ホテル椿山荘東京アートギャラリー(文京区関口2-10-8)
TEL: 03(3943)1111(代表)
屈 健
1970年陝西省生まれ。西安美術大学卒業後、南京艺术学院で文学博士号を取得。現在は西北大学芸術学院院长、教授。中国美術家協会会員、陝西省美術家協会理事、副秘書長、陝西省連合国教科文組織協会文化芸術委員会副主理、陝西省青年書画家協会常務理事、陝西省美術博物館学術委員、中国最大の総合美術展である第8回・第11回全国美術展など、全国トップレベルの美術展に多数出展。
梅 青
屈健氏の妻。西安美术学院中国画学科卒業、西北大学中国書画研究センターに勤務する傍ら、西安市重点中学美術学科の教師も務める。陝西省美術家協会会員、小中学美術教材選定委員会審査員。

